

4. 使用方法

■ ■ 4. 1 IF との連結方法 ■ ■

ご使用方法によって、次のいずれかの手順で本機の固定を行ってください。

【1】本機と IF を連結して使用する場合 → 手順 4. 1. 1

【2】本機をベースに固定して使用する場合 → 手順 4. 1. 2

4. 1. 1 連結方法

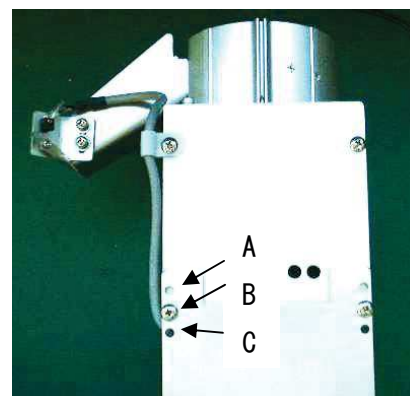
①本機の高さ調整

組み合わせる IF の機種によって、L ブラケットの取付穴位置が変わります。
ネジを取り外して穴位置を合わせ、再度 L ブラケットを固定してください。

(出荷時は取付穴 B に L ブラケットがついています)

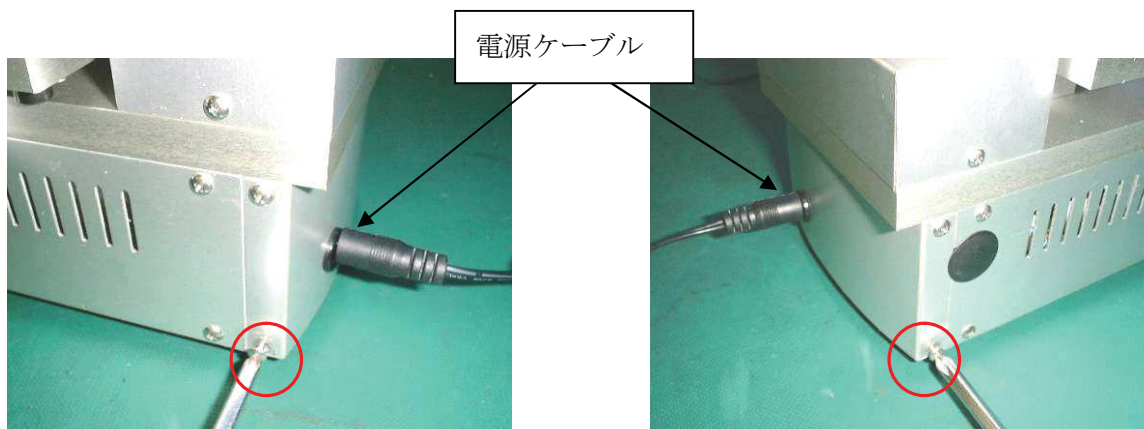
L ブラケットを固定するときは、両側のブラケットを仮止めにし、
両側のブラケットを接地させてから増し締めをしてください。

IF 機種		ワークサイズ	取付穴位置
i-Feed2 135	ゴム足無し	φ8 以下	C
	ゴム足付き	φ8 以下	B
i-Feed2 200	ゴム足無し	φ10 未満	C
		φ10 以上	B
	ゴム足付き	φ10 未満	B
		φ10 以上	A

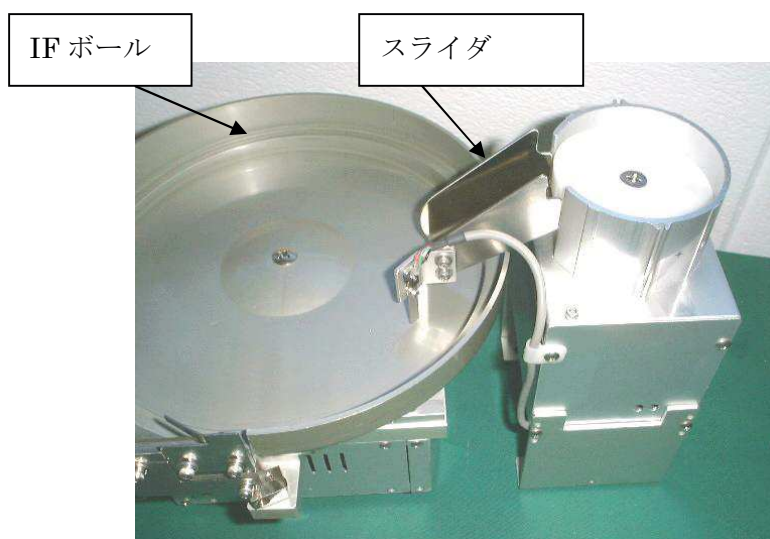


②IF 本体のカバー止めネジ 2 本を外します。

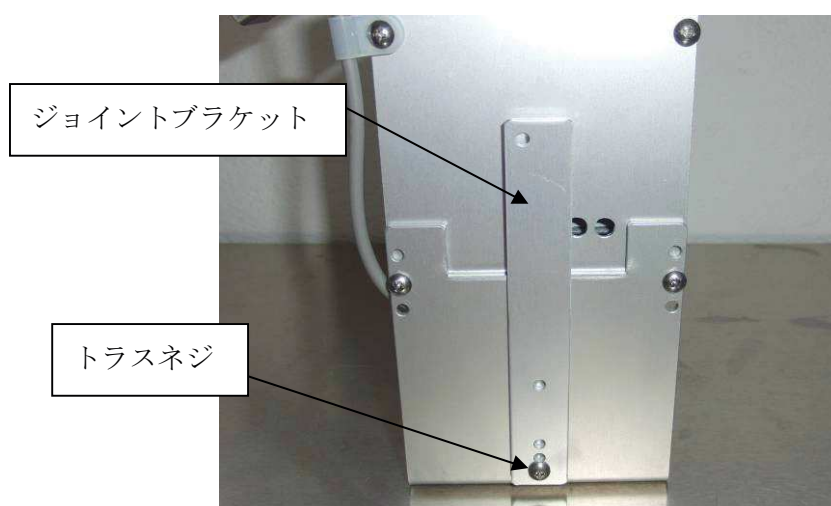
IF の電源ケーブルがある方の下側のネジです。左右 1 本ずつを外します。



- ③本機を IF 後方に置きます。このときスライダが IF ボールに被さるように置きます。

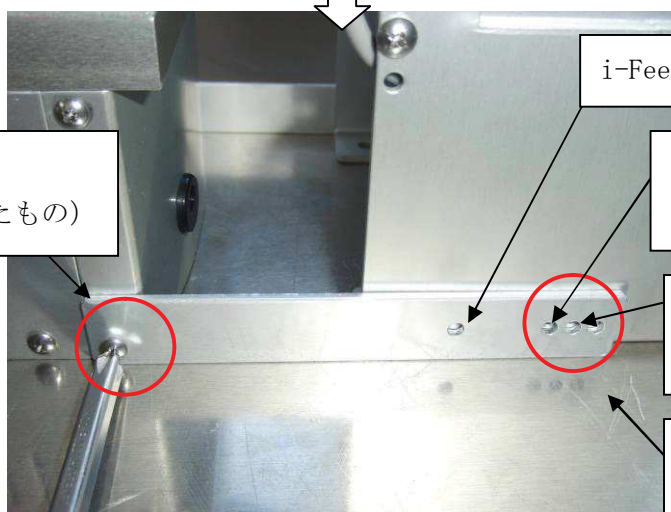


- ④ ブラケット下部に付いているトラスネジとジョイントブラケットを外します。(両側とも)



⑤ 付属のジョイントブラケットで、本機と IF を両側から挟みこむように取付けます。

※ジョイントブラケットの上下向きと取付穴位置にご注意ください。



M2.6 トラスネジ
(手順②で取り外したもの)

i-Feed2 135 連結時に使用

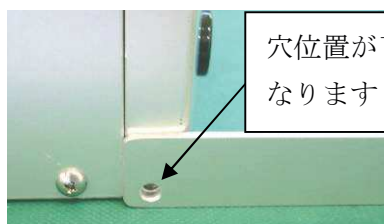
i-Feed2 200 連結時に使用
(標準ボール グレー・黒用)

i-Feed2 200 連結時に使用
(幅広ボール 黄色用)

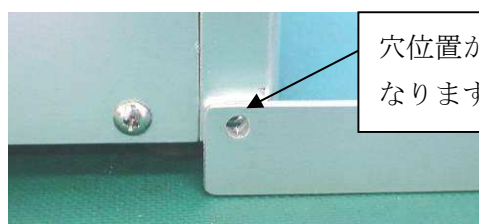
M3 トラスネジ
(手順④で取り外したもの)

【ゴム足無しの場合】

【ゴム足有りの場合】



穴位置が下側になります



穴位置が上側になります

4. 1. 2 ベースへの固定

L ブラケット底面の取付穴 4-φ5.5 を使用して M5 ボルト等で固定してください。

(穴ピッチは 4. 2 外形図をご参照ください)



■ ■ 4. 2 IF 運転検出 ■ ■

i-Feed の機種によって、IF 運転検出方法が変わります。

i-Feed の機種をご確認の上、下記のいずれかの手順を行ってください。

【1】 新型 i-Feed の場合 → 手順 4. 2. 1

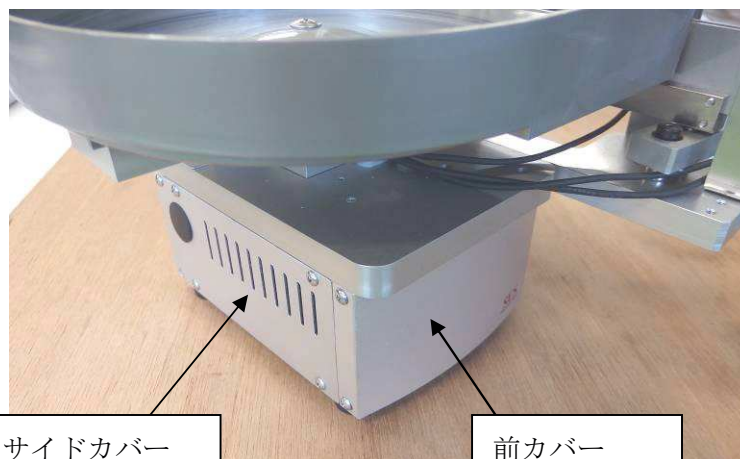
【2】 旧型 i-Feed の場合 → 手順 4. 2. 2

新旧 i-Feed 機種の見分け方

項目	旧型	新型
名称	i-Feed	i-Feed2
Item No.	IPF-****	IFK-****
電源スイッチ	ACアダプタに設置 	本体側面に設置 
ACアダプタ	Item No. なし ※電源スイッチ付 	Item No. SUC-054 ※電源スイッチなし 
コントローラ (反レール側)		
※I/O ケーブル	14ピン 	10ピン 
※本体底面取付穴	4-M3 深さ 9	4-M4 深さ 9 (穴位置は変わりません)

4. 2. 1 IF 運転検出ケーブルの取付 (新型 i-Feed)

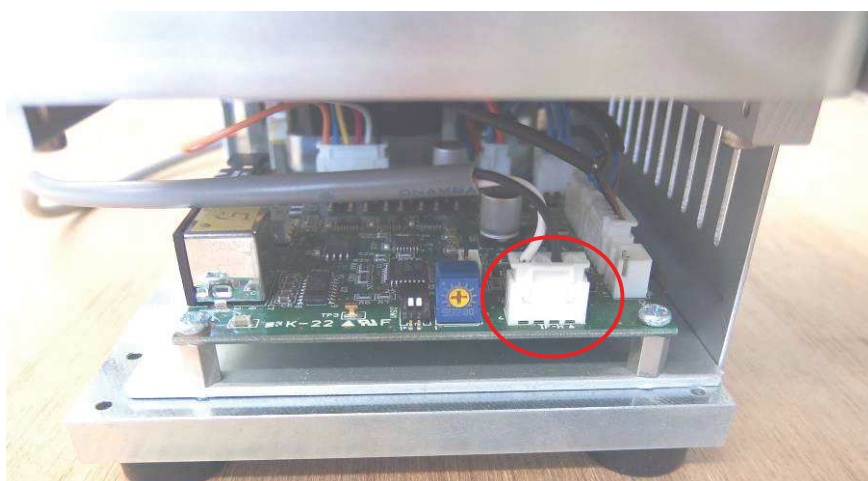
- ① トラスネジを外して、パーツフィーダの前カバーとサイドカバーを外します。
※サイドカバーは直進レールが付いていない方のみを外します。



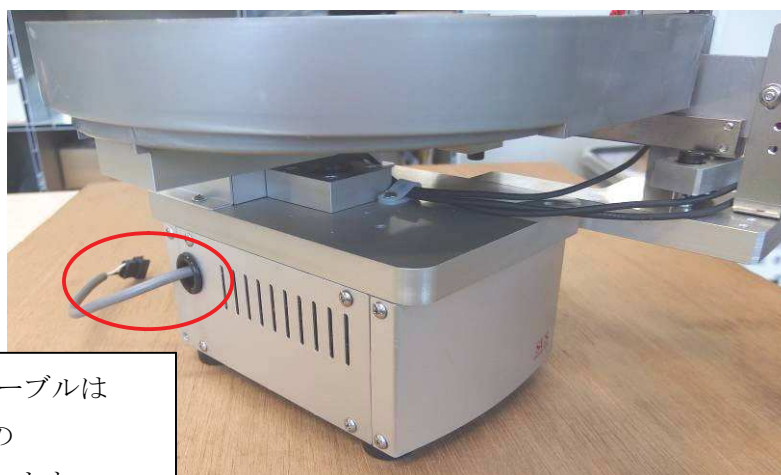
サイドカバー

前カバー

- ② パーツフィーダ基板の正面側に、IF 運転検出ケーブルの白い方のコネクタを接続します。



- ③ 前カバーとサイドカバーを取付けます。



IF 運転検出ケーブルは
サイドカバーの
穴から外へ出します。

④IF 運転検出ケーブルの黒いコネクタを本機下側から出ているコネクタに接続します。



⑤ パイプホルダに付いているトラスネジを取り外します。

※反対側も同様にトラスネジを取り外します。



⑥パイプをパイプホルダに差し込み、手順⑤で取り外したトラスネジで固定します。

切り欠きがある方から差し込み、パイプの出口部分がスライダ側にくるようにします。

ネジでの固定は反対側も行います。



4. 2. 2 IF 運転検出センサの取付 (旧型 i-Feed)

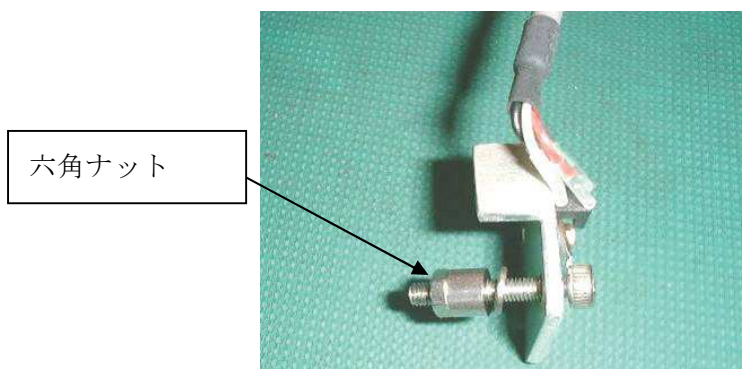
※旧型 i-Feed の場合は IF 運転検出センサ ASSY (Item No. IFK-0003) を
お買い求めください。

① パーツフィーダのレール取付部分の十字皿ネジ(ボールに近い方)を外してください。

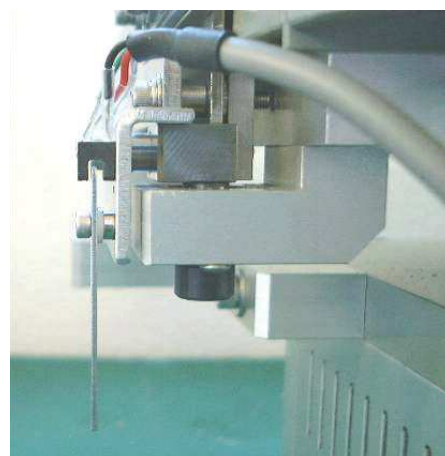


② 運転検出センサ ASSY の六角ナットを取り外します。

(六角ナットはスペーサ紛失防止用ですので、取り付けには使用しません)



③ 運転検出センサ ASSY を付属の六角穴付ボルトとスペーサで、4.2.2 手順①で取り外した皿ネジ部分に取付けます。



④IF 運転検出ケーブルの黒いコネクタを本機下側から出ているコネクタに接続します。



⑤ パイプホルダに付いているトラスネジを取り外します。

※反対側も同様にトラスネジを取り外します。



⑥パイプをパイプホルダに差し込み、手順⑤で取り外したトラスネジで固定します。

切り欠きがある方から差し込み、パイプの出口部分がスライダ側にくるようにします。

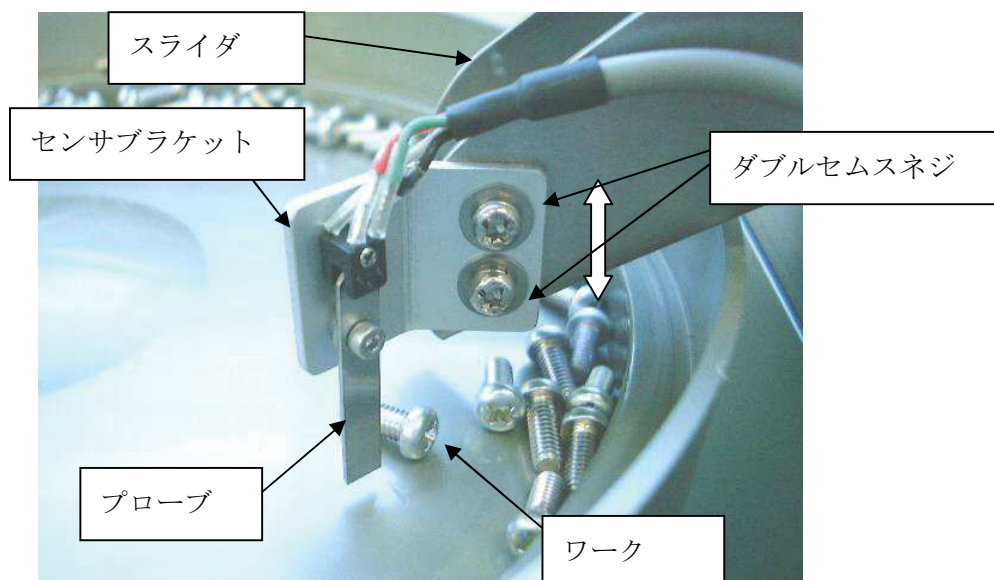
ネジでの固定は反対側も行います。



■ ■ 4. 3 ワーク検出センサの調整 ■ ■

4. 3. 1 センサ高さの調整

- ① ワーク検出センサ部のダブルセムスネジを緩めます。
- ② プローブがボール内のワークと接触するように、センサブラケットの位置を上下に調整します（プローブの上下調整幅 3mm）。
- ③ 調整が終わったらダブルセムスネジを締め付けます。

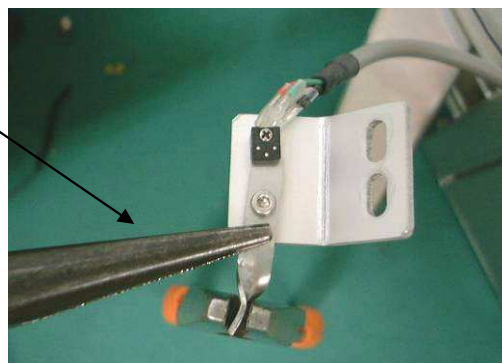


4. 3. 2 プローブの曲げ調整

ワークがプローブに接触しても、プローブが十分に傾かない場合は、プローブ先端をペンチで曲げてください。

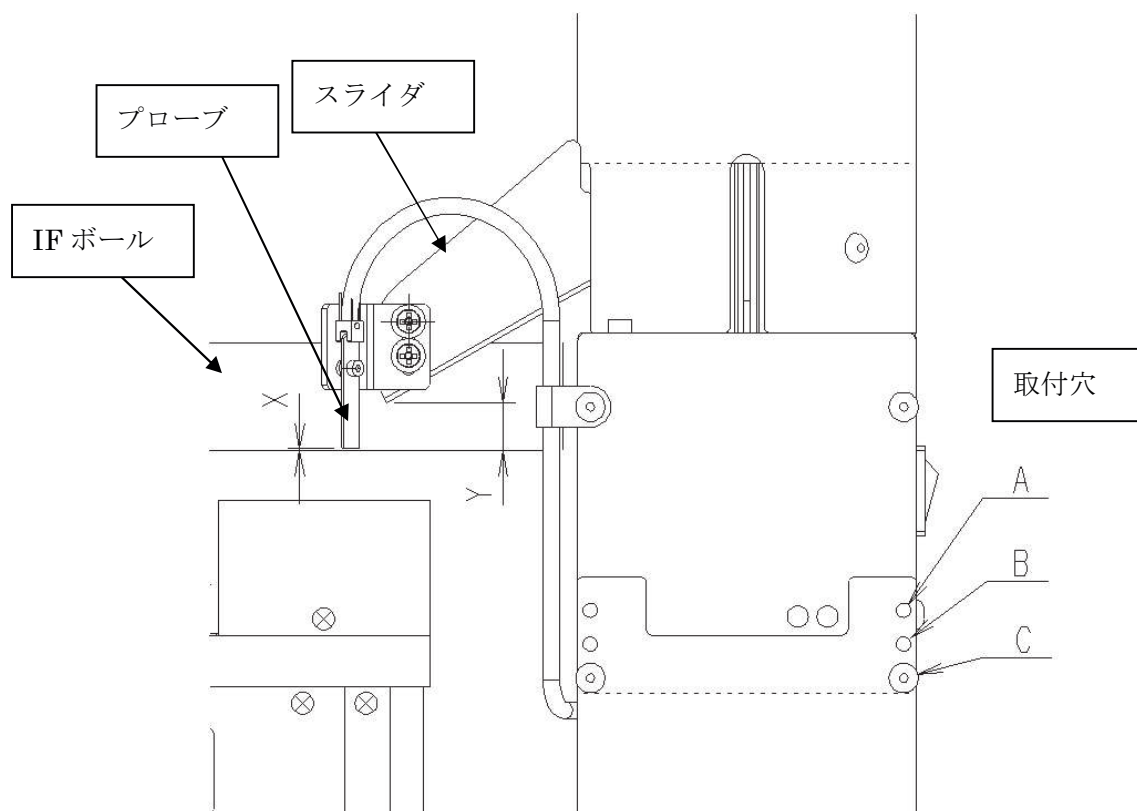
- ① ダブルセムスネジを取り外し、センサブラケットを外します。
- ② ペンチでプローブを挟み、ねじって先端を曲げます。

※曲げる際に、取付ネジ側のペンチは動かさないでください。プローブの取り付けが歪み、ワーク検出ができなくなります。



- ③ センサブラケットをダブルセムスネジでスライダへ取り付けます。

IF ボールと本機のスライダ・プローブ間の隙間は下表の値となります。



IF 機種		ワーク サイズ	取付穴	スライダ・ボール間 隙間 X	プローブ・ボール間 隙間 Y
i-Feed2 135	共通	-	C	14mm	3~6mm
i-Feed2 200	ゴム足無し	φ 10 未満	C	12mm	1~4mm
	ゴム足付き		B		
	ゴム足無し	φ 10 以上	B	20mm	8~11mm
	ゴム足付き		A		

■ ■ 4. 4 運転方法 ■ ■

①運転入力端子をショートします。

※出荷時は端子がショートされています。

②ACアダプタを本機につなぎ、AC100Vコンセントに差し込んでください。



③ワークをパイプに投入し、裏面の電源スイッチとIFの電源をONにしてください。

原点復帰後、IFボール内のワークが少なくなると、ワークをIFへ供給します。



ワーク投入上限線

※ワーク投入上限線より上までワークを入れますと、動作時にこぼれてしまいます。上限線を越えないように、ワークを入れてください。

ワーク投入時に、下の写真のようなじょうごをご用意頂きますと、ワーク投入を簡単に行えます。



じょうご

本機

■ ■ 4. 5 ワークの取り出し方 ■ ■

本機のメンテナンス時等に行います。

①本機の電源を切ります。

②ディスクを手で回して開口部を開き、ワークを掻き出します。

